

高田高校 SSH 通信

81号 Ⅲ期第15号

「第一義」で世界に挑め！

新潟県立高田高校 SSH 部

～日本を牽引するイノベーション人材の育成～

令和8年8月20日

1学年 SSI・TSI 探究スキルトレーニング

4月23日（木）の6限に、1学年全生徒を対象として「探究スキルトレーニング」を実施しました。今回のテーマは、「中学校の部活動の地域移行によって生じる問題を解決するには？」でした。各クラスで4人1グループとなり、以下の流れで活動を進めました。

- (1) 考えられる要因とその背景を考える。
- (2) 生じる問題は何か考える。
- (3) 問題解決策と、解決に向けた具体的なプロセスを考える。
- (4) ブレインストーミングを行い、班で考えた解決策を整理・統合する。
- (5) 各班が要因・背景・生じる問題・解決策を発表する。

これらの取組を通じて、探究活動に必要な基礎的な思考法を実践的に学ぶことができました。



1学年 SSI・TSI 未来新聞づくり

1学年SSI・TSIの「探究基礎」の取組として、4月30日（木）と5月7日（木）の2回にわたり「未来新聞」作りを行いました。題材は、昨年度に引き続き、「高田高校が、国際連合（UN）が選ぶ『世界ベストハイスクール』に選出された」という仮想ニュースです。生徒は10年後の自分がこのニュースを目にした場面を想像しながら、「高田高校はどのような取組を続け、どのような成果を上げたことで世界から評価されるようになったのか」を自由に考えました。そして、4人1組のグループでアイデアを出し合いながら記事を作成しました。完成した「未来新聞」は、高高祭（文化祭）で図書室前の廊下に掲示し、多くの生徒や来場者の目を引きました。

毎年行っているこの取組には、大きく2つの目的があります。1つ目は、未来を想像し、そこから「どのような取組が必要か」「どのような成果につながるか」を考える過程を通じて、未来を「創造」する力を養うことです。特に普通科の生徒にとっては、9月から始まるプレ課題研究



「地域探究」において、地元上越の未来を考える活動に取り組むための準備として位置付けています。2つ目は、今後のプレ課題研究や課題研究で必要となるICT活用スキルを身に付けることです。今年度は、昨年度と比べて、画像やイラストの作成にAIを活用した作品が増え、AIを活用して自分たちの考えを形にする工夫が随所に見られた。

今回の取組に参加した1年生の皆さんには、9月から始まるプレ課題研究や、次年度の課題研究において、今回の経験をぜひ生かして欲しいと思います。

3学年 SSⅢ 第14回新潟県SSH生徒研究発表会 in Echigo-NAGAOKA

7月28日(火)にアオーレ長岡で第14回新潟県SSH生徒研究発表会 in Echigo-NAGAOKA が行われ、理数科3年生が参加しました。発表会には本校のほか、県内SSH指定校である新潟南高校、新発田高校、柏崎高校、長岡高校の4校、WWL指定校の三条高校、さらに、新潟市立万代高校、富山県立富山中部高校が参加しました。午前中は、県内SSH指定校5校の代表者によるステージ発表が行われ、本校を代表して、課題研究発表会「高田探究ミーティング」で最優秀賞を受賞した班が、『「かんずり」でみそ汁をおいしく』のステージ発表を行いました。午後からは各研究グループによるポスター発表が行われ、その後の生徒交流会では、各校混合で6名1グループを形成し、1枚の紙の滞空時間を競うアクティビティ「ペーパードロップ」が行われました。

